

田中 正(監訳)・金谷文則(訳者代表)

AO 法骨折治療 Hand and Wrist [英語版 DVD-ROM (Win 版) 付]

岩本幸英
九大教授・整形外科学

この度、手および手関節の骨折治療に関する手術手技と、最新の AO 固定法を紹介した『AO 法骨折治療 Hand and Wrist』が出版された。金谷文則先生、別府諸兄先生、吉田健治先生の翻訳、田中正先生の監訳によるものであり、わが国の代表的な Hand Surgeon が、本書の内容を広く伝えようとしている意気込みが伝わってくる。自分が研修医の頃、教科書を読んで AO 法の原理を理解し、胸を高鳴らせて骨折の手術に臨んだことを思い出しながら本書に目を通してみた。

本書の特徴は、豊富なカラー写真や図を用い、手指骨、手根骨、橈骨遠位端の個々の骨折について、術前計画、手術進入法、AO インプラントを用いた固定法、後療法を簡潔かつ明瞭に記載している点にある。そのため、今から手の外科を学ぶ若い整形外科医にとって、治療のポイントを要領よく頭に入れることができる。また、まさに“待ったなし”の骨折治療の現場で、正しい治療法を短時間のうちに確認する上でも有用である。

また、各々の骨折に対し、スムーズに手術を行うためのヒント (Pearls) と、陥りやすい落とし穴 (Pitfalls) が記載されている点は、本書の最も大きな長所である。これらは今までの教科書にはほとんど記載されておらず、数多くの症例を経験するうちに徐々に習得するこ

とが多かったが、本書の Pearls と Pitfalls を精読すれば、効率的かつ短時間のうちに手術のコツを身につけることができるであろう。

本書に付属している DVD-ROM は、骨折の固定手技だけでなく、手術進入法も確認できるように工夫されている。これは術前計画の立案に有用なばかりでなく、教育にも大きな威力を発揮すると思われる。近年、日本整形外科学会の専門医試験にもビデオ問題が導入され、臨床の現場で役に立つスタンダードな診察、治療手技を身につけているか否かが試されるようになった。指導医にとって、典型的な症例に対するスタンダードな治療を研修医に見せることは必ずしも容易ではないが、この DVD-ROM を用いればいつでも好きなときに紹介できるであろう。

故・天児民和九州大学名誉教授は手の外傷に対する治療を重要視され、日本手の外科学会の創設に際し、「我々臨床外科医にとっては、手の損傷を可及的に機能障害の少ない状態に回復せしめる技術を修得することが重要な任務と責務であると思う」と述べられた。手の外傷の治療の重要性は今昔を問わない。手の外傷の治療法の発達は日進月歩であり、整形外科医であれば誰でも手の外傷に関する最新の情報を入手し、実践に備える必要がある。手の外傷に関する最新の情報をわかりやすく解説してある本書を、手の外科を専門としない先生に対しても、必読の書として自信をもって推薦したい。

●A4 判 360 頁

定価 25,200 円 (本体 24,000 円 + 税 5%)

2006 年 医学書院・刊